

2012年11月

大阪府知事 松井一郎様

安威川の治水を考える流域連絡会

代表 畑中孝雄

安威川ダム反対市民の会

代表 江菅洋一

あ い が わ
大阪府営安威川ダム本体工事着工中止を求める申し入れ書

地質問題に関連する安全性の究明のために

大阪府営安威川ダムは計画から45年。本年12月大阪府議会に、本体工事着工のための転流工事請負契約締結議案を提出すると聞いている。かねてより私達は、「安威川流域の治水については、本川は堤防補強が実施されれば、百年に一回規模程度の洪水は流下できる。一方支流の改修が遅れている。したがってダム計画より本川の堤防補強、支流の改修および堤防補強を優先せよ」と一貫して主張してきた。同時に「ダムサイト近接地に活断層（馬場断層）が存在するとともに、ダムサイトの岩盤に断層が多数発達して破碎帯をなし、ダムの安定岩盤として不適であり、さらに湛水域含む貯水池周辺斜面の地すべり危険度についても問題点を有している」と指摘してきた。もとより安威川ダム計画は流域5市の市街地から数キロに位置しており、大阪府のダム堤体の損傷等による被害想定でも「下流域への浸水被害は面積で20平方キロ、人口で17万人、金額で8千億円に及ぶ（添付資料1）」としており、ダム建設による治水の可否は、安全上からも更に慎重な検討が必要である。いずれにしても、安全性について十分な議論が行なわれるためには、地域住民および住民に委嘱された専門家による検討の機関の設置が必要である。そこであらためて、安全性究明のためにすべての情報を公開するとともに、大阪府は指摘の以上の点を踏まえて、標記の対応を強く求めるものである。

以 上